

第3学年 第1回進路説明会資料

この資料は、現時点における最新情報をもとに作成していますが、76期生の進路の詳細については9月以降に決定することが多く、今後、変更や追加等があり得ることをご了承ください。

「人生は選択の連続である」**ウィリアム・シェイクスピア**

一人ひとりの生徒にとって、「自分の進路をどうするのか」「自分の進路がどうなるのか」は、15歳の春を迎えるにあたって、重大な決断を強いられることになります。『進路』というと、単に中学校卒業後の春と考えがちですが、これから長い自分の人生を見据え、「自分は将来どのように生きたいのか」「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」というようなことを視野に入れて考えて欲しいと思います。

人生の進路は、中学校を卒業したときだけで決定してしまうのではなく、一人ひとりの生徒の内的要因や外的要因によって、何度も「進路選択」や「進路変更」をしなければならない場面に出くわします。そんなときに本人がどのように対処していくのかが、長い人生を有意義に生きていけるかどうかの別れ道になるように思います。なかには小学校卒業後の進路選択を経験したという子どもたちもいるでしょうが、9年間の義務教育を終える今年の進路選択こそ、ほんとうの意味での第一歩と言えます。

私たち教師は、大多数の子どもたちが初めて経験するこの人生最初の進路選択との出合いのなかで、一人ひとりの子どもたちが学ぶであろうことを、からの長い自分の人生のなかで生かして欲しいと願っています。

この資料は、進路学活でも使用します。お子さまに下記を記入させ、大切に保管してください。

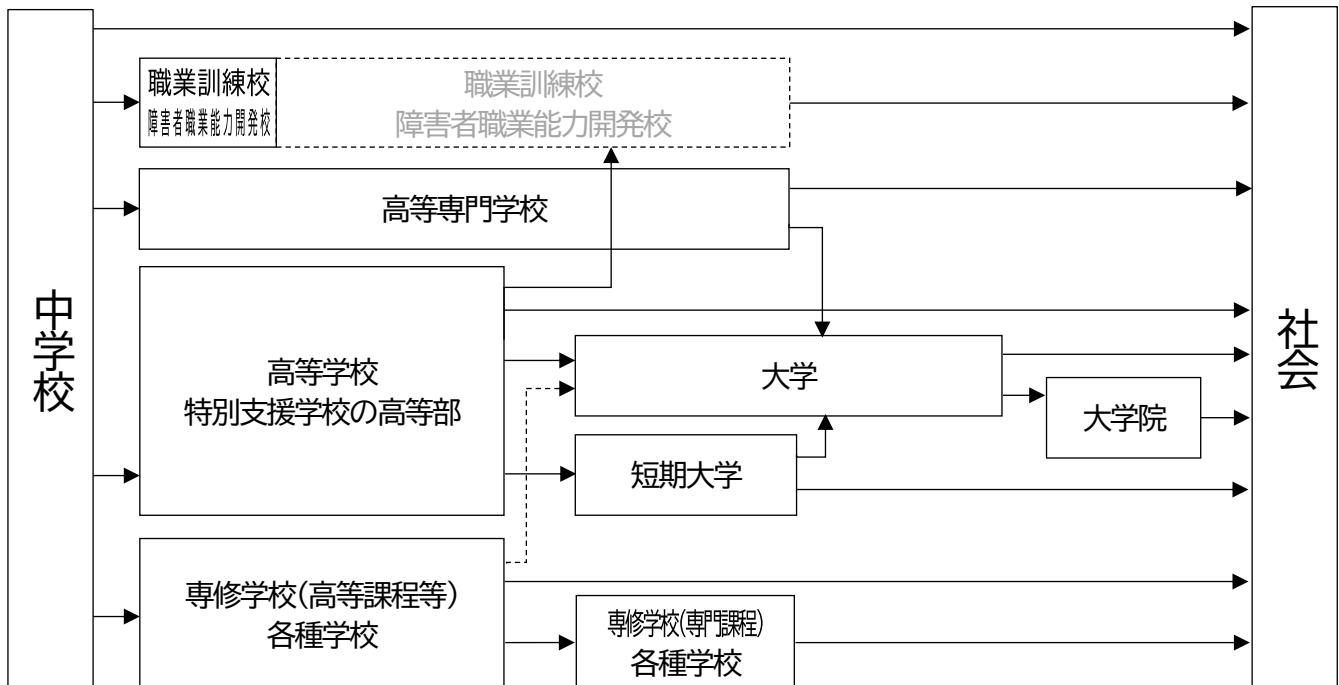
3年	組		番	名前	
----	---	--	---	----	--

令和5年(2023年)6月15日(木)

西宮市立浜脇中学校

1. 進路決定に向けて

【中学校卒業後の主な進路の方向】



★学校における進路指導の体制

- ◆ 校内に設置された、校長・教頭及び第3学年所属職員全員による「進路指導委員会」が、外部との交渉、資料や情報の収集も含めて行います。
- ◆ 進路に関する窓口は学級担任ですが、2学期期末懇談における最終的な進路決定についての判断は、第3回進路希望調査をもとに、「進路指導委員会」で検討・審議した結果に基づいたものであり、学級担任の個人的な判断に基づいたものではありません。

<保護者の皆さんへ>

毎年1%台の子どもたちが、高校進学後に中途退学をしています。現在知り得る令和3年度の調査によると、兵庫県の高校(国立・公立・私立)では1,781人(全在籍生徒数の1.3%)の子どもたちが、全国の高校(国立・公立・私立)では38,928人(全在籍生徒数の1.2%)の子どもたちが中途退学をしています。中途退学の理由の中には、「保護者の経済状況の変化」という子どもたちの力ではどうにもならない外的要因もありますが、その多くが「学校生活や学業不適応」によるものであり、その理由として、「もともと高校生活に熱意がない」と回答している子どもたちが、最も多くの割合を占めています。この現実を私たち教師も含めた大人がどう受け止めるのかということは、極めて重要です。進路は勝ち負けではなく、ましてや誰かと比較すべきものでもありません。「何が何でも○○高校を」と、進学のための進学になることのないよう、お子さまの性格や特性、ご家庭の状況などを考えながら、お子さまが納得できるよう、人生の先輩としての助言をしてあげることが大切であると考えます。お子さまが納得できる進路選択は目的のある進路選択であり、目的のある進路選択こそが、挫折に強い進路選択であると言えます。ぜひ、この進路選択との出合いをきっかけに、お子さまが将来、「自分で生きていくための力」を身につけていく機会としていただくことを、切にお願いします。

<生徒の皆さんへ>

いよいよ、中学校卒業後の自分の進むべき道(進路)を真剣に考えていかなければなりません。自分の進むべき道について思い悩み、ときには家人の人と意見が合わずにぶつかることもあるかも分かりません。だからと言って、自分の進路選択から絶対に逃げてはいけません。単に「進学できるところに進学する」「勉強が嫌いだから

就職する」というのではなく、これから自分の長い人生に思いを寄せ、「自分は将来どのように生きたいのか」「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」ということを考え、保護者や先生方の話に耳を傾け、自分で進路を選択していってください。現在、76期生の全員が進学を志望していますが、進学は、今後の人生設計の通過点でしかありません。大切なことは進学したあとです。どのような進路を選択することが、今後の自分にとってプラスになるのかをよく考えなくてはなりません。毎年、「親に言われたから」「仲の良い友だちが行くから」という安易な気持ちで高校を選ぶ、「ほんとうは行きたくない高校だったのに」という投げやりな気持ちで進学してしまうなどが原因で、進学先を中途退学する人があとを絶たないのが現実です。先生たちにとっても悲しく辛いことは、せっかく苦労して入学した進学先を1年も経たないうちに辞めてしまうことです。たとえ辞めなくても、楽しく高校生活を送っていないとするなら、それも同じことです。逆に先生たちにとっても嬉しいことは、目的意識をもって学校生活に取り組んでいるという報告です。進学先を卒業後に「〇〇に就職した」「〇〇大学に合格した」という報告は、先生たちにも働く勇気を与えてくれます。ぜひ、目先のことだけに捉われない、よりよい進路選択ができますことを願っています。

★進路を考えるとは

- ◆ 進路を考えるとは、ただ単に「〇〇高校に進学する」ということではありません。将来、「自分がどんな方向の仕事をやりたいのか」「何に関係する仕事に就きたいのか」など、真剣に自分と向き合って考え、その準備をしていくことです。現時点で、自分のやりたいことが明確でない人も多いでしょう。しかし、普通科と職業学科や専門学科では、その先の人生設計が大きく違ってきます。だからこそ、いま一番大切なことは、自分の特性や個性、自分の考え方や思いをよく知ることです。
- ◆ 自分の特性や個性、自分の考え方や思いをよく知ったとしても、それだけで希望の進路が手に入るわけではありません。希望の実現に向け、今をどう生きるのかを考えることが重要です。
- ◆ 本番で力を発揮できる人は、誠実に家庭生活や学校生活に取り組んでいる人です。もちろん、人には弱さがあります。自分の思い通りにならないこともあります。しかし、毎日の自分の生き方こそが大切です。
- ◆ いろいろな人からのアドバイスを受けましょう。しかし、最終的には自分の責任で進路は決めるものです。希望どおりになることもあります。そうならないこともあるかもしれません。義務教育を終えるということは、進学するにしても社会で通用する力が求められます。自分で決めたことに対して、自分で責任を負う覚悟が必要です。
- ◆ 進学先の情報は、それぞれの学校のホームページで調べることができます。また、実際にその学校の説明会や体験授業に参加することを通して、自分の目で確かめることもできます。体育祭や文化祭なども、一般に公開されているものもあります。もちろん、先生たちが知り得た情報はその都度伝えていきますが、すべての情報が先生たちに知らされる訳ではありません。自分で必要な情報を集めることが大切です。

2. 進路決定までの主な流れ

※現時点における流れです。予定に変更がある場合は、その都度、中学校からお知らせします。また、日付のないものについては、現時点で具体的な日付は決まっていません。

月	学校行事		進路関係			
5月	5/30(火)	第1回実力テスト	①求職受理相談			
6月	6/12(月) 6/13(火) 6/14(水)	1学期期末テスト	▼ 6/15(木) ▼ 6/16(金) ▼ 6/26(月)	第1回進路説明会 第1回進路希望調査配布 第1回進路希望調査〆切	オープン・ハイスクール 学校 説明会 体験入学 などに積極的に 参加	
7月	7/20(木)	1学期終業式	▼ 7/3(月) ▼ 7/7(金) ▼ 7/10(月)	1学期期末懇談		
8月	8/22(火) 8/30(水) 8/31(木)	学年登校日 第2回実力テスト	▼ 8/22(火)	第2回進路希望調査配布 第2回進路希望調査〆切		
9月	9/1(金) 9/28(木)	2学期始業式 体育大会	▼ 10月下旬	第2回進路説明会 &第3回進路希望調査配布		
10月	10/12(木) 10/13(金) 10/24(火)	2学期中間テスト 第3回実力テスト	▼ 11月中旬	第3回進路希望調査〆切		
11月	11/14(火) 11/15(水) 11/16(木)	2学期期末テスト	②選考書類の提出			
12月	12/25(月)	2学期終業式	▼ 12/8(金) ▼ 12/18(月)	2学期期末懇談 ☆進路決定		
1月	1/9(火)	3学期始業式	③結合相談			
2月	2/19(月) 2/20(火) 2/21(水)	学年末テスト	④就職一斉選考(2月中旬)			
3月	3/8(金)	卒業証書授与式	⑤就職準備講習			
			3/03(日) 3/04(月) 3/07(木) 3/11(月) 3/12(火) 3/19(火) 3/26(火) 3/27(水)	県内公立通信制入試 ※入試日は出願時に指示されたいずれか1日 県内公立特別支援学校高等部再募集入試 県内公立特別支援学校高等部再募集合格者発表 県内公立学力検査入試 ※一部3/13(水)も有 県内多部制Ⅱ期試験入試 県内公立学力検査・多部制Ⅱ期試験合格者発表 県内公立定時制再募集入試 県内公立定時制再募集合格者発表		

3. 就職について

(1) 就職の方法

- (ア) 公共職業安定所(ハローワーク)による就職 (イ) 縁故による就職
- (ウ) 家業を手伝う就職 (エ) 家事手伝い

(2) 公共職業安定所(ハローワーク)による就職

即戦力を求める企業が増えるなか、中学校新卒者の就職については、非常に厳しい状況が続いています。中卒者の求人の少なさの原因には世の中の景気動向もありますが、「職場での態度がなっていない」「遅刻や無断欠勤を平気とする」「働く意欲が見られない」「仕事の内容が理解できない・理解しようとしている」といった、基本的な社会常識の欠如によって解雇されるケースがあとを絶ちません。企業にとって中卒者を採用することは、無償どころか、給料を支払うボランティアに近いとも言われているのが現実です。安易な気持ちで就職する生徒が多いことが、企業の求人数の減少にも繋がっているとも言えます。公共職業安定所を通じての就職を希望する場合は、必ず学校を通し、公共職業安定所の求職受理相談を受けることが必要です。

(3) 企業内高校

一般的な高校とは違い、企業が次世代の社員育成のために運営する3年の職業訓練校です。通信制高校と連携しているため、その道のスペシャリストをめざす技能訓練を受けながら、高卒資格も取ることができます。また、入校時から社員としての資格が与えられ、手当がもらえる場合もあります。ただし、合格条件は非常に厳しいです。出願は、公共職業安定所を通じて行います。必ず学校を通し、公共職業安定所の求職受理相談を受けることが必要です。トヨタ工業学園高等部(愛知県豊田市)、デンソー工業学園工業高校課程(愛知県安城市)、日立工業専修学校(茨城県日立市)、日野工業高等学園(東京都日野市)があります。

(4) 職業訓練校

一般的な高校とは違い、職場に直結した人材養成を目的とした1~2年の訓練機関です。高卒資格は取れません。出願は、公共職業安定所を通じて行います。必ず学校を通し、公共職業安定所の求職受理相談を受けることが必要です。近隣では、兵庫県立神戸高等技術専門学院、兵庫県立ものづくり大学、大阪府立東大阪高等職業技術専門校があります。

4. 進学について

(1) 受験(受検)方法による分類

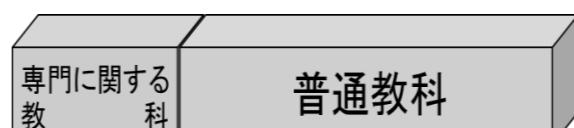
- (a) 専願 合格した場合、必ずその学校に入学するという契約のもとで受験(受検)する方法です。したがって、他の学校を受験(受検)することはできません。そのため、多くの私立高校が、併願との合格ラインに差をつけるなどの優遇措置をとっています。また、合格すれば、ただちに入学金の払込等の入学手続きを済ませる必要があります。国立や公立高校は、すべて専願のかたちで受験(受検)することになりますが、推薦入学と学力検査では、推薦入学が優先されます。
- (b) 併願 合格しても、必ずしもその学校に入学しなくてもよいという契約のもとで受験する方法です。おもに国立や公立高校を第一志望とし、私立高校を第二志望として受験する方法です。したがって、国立や公立高校に合格すれば、必ず国立や公立高校へ進学し、私立高校を棄権することになります。両方に合格しているからといって、国立や公立高校を棄権することはできません。併願で私立高校を受験した場合、入学手続きは公立高校発表後すぐにというところがほとんどですが、一部の私立高校では、公立高校発表前に合格予約金というかたちで入学金の一部の支払いを必要とする場合があります。払い込んだお金は入学しない場合でも返金されないので、各校から出される「募集要項(入試要項)」で事前の確認をしておくことが大切です。

(2) 課程による分類

- (a) **全日制** 授業や学校行事、部活動など、教育活動が昼間に行われます。高校の特色に応じて、時間割やクラス編成などを工夫しています。
- (b) **定時制** 本来は、働きながら学びたい人の教育を保障するために設置された学校ですが、現在は、さまざまな学習ニーズを持った人たちが学んでいます。午後1時ごろから午後4時ごろまで学ぶ昼間定時制と、午後5時ごろから午後9時ごろまで学ぶ夜間定時制があります。修業年限は4年を基本としますが、3年で卒業することも可能です。
- (c) **多部制** I部(午前)・II部(午後)・III部(夜)の3部で構成され、生活スタイルによって学ぶ時間帯を選択することができます。I部・II部・III部とも、1日4時間の授業なので、定時制と同じように修業年限は4年間を基本としますが、I部に所属してII部の授業を2時間、II部に所属してIII部の授業を2時間、III部に所属してII部の授業を2時間となるなかで、3年で卒業することも可能です。ただし、III部に所属しII部の授業を2時間とすることは、学校の授業形態によってできない場合もあります。
- (d) **通信制** 教科書等を用いた自学自習が基本です。科目ごとに定められた数のレポート(報告課題)を提出し、添削を受けるというかたちで学習を進めていきます。月に2回程度のスクーリング(面接指導)に出席し、勉強の仕方や内容について教わります。レポートの提出やスクーリングによって単位を取得し、高校卒業に必要な単位を取得できれば卒業資格がもらえます。修業年限は3年以上です。

(3) 学科による分類

- (a) **普通科** 単位制高校を除く普通科の高校では、国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語などの教科を中心になります。生徒の進路希望や興味・関心に応じて系統的に教科・科目が選択できるよう、文系、理系以外にも、芸術類型、生命科学類型、福祉ボランティア類型、教育類型、スポーツ類型などの「特色ある類型」が設置されている高校もあります。また、幅広い学習ニーズに応えるため、「情報処理」や「社会福祉基礎」など、専門科目を含めた幅広い選択科目も設置されています。更に、地域の実態や生徒の学習ニーズ等を踏まえ、それぞれの分野や領域に関する学習を取り入れた、国際文化系コース、自然科学系コース、健康福祉系コース、総合人間系コースが設置されている高校もあります。
- (b) **総合学科** 生徒の興味・関心、進路希望などに応じて、共通科目と専門科目の両方から自分自身で科目を選び、学習することができます。将来の職業や生き方について考える「産業社会と人間」をはじめ、さまざまな科目を学習することを通じて、自分自身の進路に対する意識や関連した知識等を高めることができます。多様な選択科目は「系列」と呼ばれるグループに分けられており、各高校において、多くの特色ある系列が設置されています。
- (c) **職業学科** 農業や工業、商業など、各分野におけるスペシャリストを目指して専門的な内容を学ぶことができます。バイオテクノロジーやコンピューターなど、時代の先端を担う科目が数多く設置されています。また、在学中に、建築や簿記、情報処理等、それぞれの専門分野に合わせた多くの資格を取得することができます。
- (d) **特色ある専門学科** ひとりひとりの多様な個性に対応したさまざまな専門学科が設置されています。スポーツや芸術、科学、環境など、各分野において専門的な技術・知識を身につけるとともに人間性を養い、将来、社会の各分野で活躍できる人材育成に力を入れています。



(4) 単位取得の方法による分類

「単位」とは、学習量をあらわす基準のことで、一定時間の授業を継続して受け、高校の定める出席や成績の条件を満たすことによって認められます。50分授業の場合、ひとつの授業を35回受けることが、1単位取得の最低条件になります。卒業資格を取るためにには、計74単位以上の単位を取得しなければならないことが、法律で定められています。

- (a) **学年制** 学年ごと(1年ごと)に必要な単位を取得し、上の学年に進級していきます。
- (b) **単位制** 高校卒業に必要な単位を取得できれば卒業資格がもらえます。修業年限は3年以上です。学年の区別がなく、必要な単位を取得することによって卒業が認められるのが単位制高校の特徴です。総合学科においても、単位制のしくみが取り入れられています。

5. 私立高等学校への進学について

創立者の建学精神により、特色ある教育方針のもとで教育が行われています。共学校・共学別校・男子校・女子校がありますが、近年は女子校の共学化が進んでいます。また、併設大学を設置している学校や普通科の中に特別進学クラスや選抜クラスを設置している学校も多くあります。進路選択にあたっては、各校をよく研究したうえで、本人の希望・適性などを考えあわせて選ぶことが大切です。また、通学の便も判断材料に入れておく必要があります。

私立高校は全国どこでも受験できますが、多くの学校では、専願・併願が大きく影響します。また、学科試験で合計点が合格点に達していても、1教科でも特に悪い点数があれば不合格になることもあります。更に、第1志望の学科やコースが不合格でも、他の学科やコースの合格ラインに達していれば、第2志望や第3志望までの学科やコースで合格になる転科合格の制度を取り入れている学校も増えてきています。出願時に転科合格の希望を申請する場合と、自動的に転科合格になる場合もあるので、願書記入時には注意が必要です。多くの学校では、学科試験や面接等の結果と中学校から提出する調査書(個人報告書)を総合して合否の判定を行います。

私立高校と公立高校の大きな違いのひとつに学費の問題がありますが、私立高校では、専願者を中心に、成績優秀者のみならず、保護者が卒業生である場合や兄弟姉妹が在学している場合などによる、さまざまな減免制度を導入している学校が増えています。また、保護者の負担を軽減するため、補習学習等の手厚い学力保障により、塾に行かなくても有名私立大学や国公立大学への合格を目指す生徒のニーズに応える体制を整えている学校も少なくありません。少子化における生徒獲得は、私立高校にとっては死活問題であり、私立高校の改革は公立高校よりも進んでいます。難易度も含め、一昔前の風評で私立高校を選択するのは大きな間違いと言えます。

兵庫県・大阪府・京都府の私立高校の入試日は統一されており、例年、学科試験が2月10日、面接が2月11日に行われます。学校によっては、2月10日に学科試験と面接を行う学校もあります。学科試験の試験科目は各校で異なりますが、兵庫県の私立高校は国・数・英の3科目、大阪府の私立高校は国・数・社・理・英の5科目が主流です。学校によっては、合格発表後から3月に実施される公立高校の学力検査のあいだで1.5次募集、公立高校の学力検査の合格発表後に2次募集を行うところもありますが、募集定員が極めて少なく、公立高校の受験に不合格となった生徒が集中するため、難易度は極めて高くなります。併願で私立高校を受験した場合には、入学金の納付日にも注意が必要です。公立高校に合格すれば私立高校への入学金の納付は必要ありませんが、公立高校が不合格の場合は、各校が作成した「募集要項(入試要項)」の納付方法に従って入学金を期日までに納付しなければ、合格は取り消されます。

【兵庫県】令和3年度私立高校等の初年度納付金平均額 ※現在知り得る令和3年度の調査です。

授業料(A)	施設整備費等(B)	入学料(C)	計(A+B+C)
433,672円	201,927円	227,500円	863,100円

※高校では、上記以外にも、制服代、教科書代、PTA会費、修学旅行のための積立金、部活動費、通学費などの費用もかかります。公立高校も含め、事前にしっかり確認しておきたいポイントです。

※全日制の私立高校と公立高校での年間の学校教育費の差は、文部科学省公表の「令和3年度子どもの学習費調査」によると、私立高校が750,362円、公立高校が309,261円と、私立高校の方が約2.4倍という結果が出ています。学校教育費外(例えば塾代など)の費用を含めて比較すると、私立高校の方が約2.1倍となります。

【兵庫県】令和5年度入学生保護者への支援

世帯年収目安(※1)	授業料に対する支援			奨学給付金(※3)
	国の就学支援金	県の授業料軽減補助	合計(※2)	
年収270万円未満程度	396,000円	44,000円 (54,000円)	440,000円	52,600円～ 152,000円
年収270万～ 590万円程度				－
年収590万～ 730万円程度	118,800円	100,000円 (110,000円)	218,800円	－
年収730万～ 910万円程度		50,000円 (60,000円)	168,800円	－

※1 両親・高校生・中学生の4人家族で、両親の一方が働いている場合の目安です。家庭の状況(家族構成等)で大きく異なる場合があります。

※2 授業料に対する支援は、授業料額が上限となります。また、年度の途中で転退学した場合、在籍月数による支援額となります(年額は支援されません)。

※3 奨学給付金給付額

所得区分	給付額
生活保護(生業扶助)受給世帯	52,600円
非課税世帯	第1子の高校生
	第2子以降の高校生
※15歳(中学生を除く)以上23歳未満の兄弟姉妹がいる場合	
	137,600円
	152,000円

<兵庫県内の全日制私立高等学校>

【共学校】26校			
芦屋学園	芦屋市	育英	神戸市長田区
生野学園	朝来市	市川	神崎郡
関西学院高等部	西宮市	近畿大学附属豊岡	豊岡市
啓明学院	神戸市須磨区	神戸学院大学附属	神戸市中央区
神戸弘陵学園	神戸市北区	神戸国際大学附属	神戸市垂水区
神戸星城	神戸市須磨区	神戸第一	神戸市中央区
神戸野田	神戸市長田区	神戸龍谷	神戸市中央区
三田学園	三田市	三田松聖	三田市
夙川学院	神戸市兵庫区	神港学園	神戸市中央区
須磨学園	神戸市須磨区	滝川第二	神戸市西区
東洋大学附属姫路	姫路市	仁川学院	西宮市
白陵	高砂市	日ノ本学園	姫路市
雲雀丘学園	宝塚市	蒼開(元柳学園)	洲本市
【男子校】8校			
甲南	芦屋市	甲陽学院	西宮市
彩星工科(元村野工業)	神戸市長田区	淳心学院	姫路市
滝川	神戸市須磨区	灘	神戸市東灘区
報徳学園	西宮市	六甲学院	神戸市灘区

【女子校】17校			
愛徳学園	神戸市垂水区	小林聖心女子学院	宝塚市
賢明女子学院	姫路市	甲子園学院	西宮市
甲南女子	神戸市東灘区	神戸海星女子学院	神戸市灘区
神戸国際	神戸市須磨区	神戸女学院高等学部	西宮市
神戸常盤女子	神戸市長田区	神戸山手女子	神戸市中央区
松蔭	神戸市灘区	親和女子	神戸市灘区
園田学園	尼崎市	姫路女学院(元兵庫県播磨)	姫路市
兵庫大学附属須磨ノ浦	神戸市須磨区	武庫川女子大学附属	西宮市
百合学院	尼崎市		

<大阪府内の全日制私立高等学校>

【共学校】72校			
藍野	茨木市	アサンプション国際(元聖母被昇天学院)	箕面市
アナン学園(元松蔭東)	東大阪市	あべの翔学	大阪市阿倍野区
上宮	大阪市天王寺区	上宮太子	南河内郡太子町
英真学園	大阪市淀川区	追手門学院	茨木市
追手門学院大手前	大阪市中央区	大阪	大阪市東淀川区
大阪偕星学園	大阪市生野区	大阪学院大学	吹田市
大阪学芸	大阪市住吉区	大阪暁光	河内長野市
大阪国際(元大阪国際大和田)	守口市	大阪金剛インターナショナル(元金剛学園)	大阪市住之江区
大阪産業大学附属	大阪市城東区	大阪商業大学	東大阪市
大阪商業大学堺	堺市中区	大阪信愛学院(元大阪信愛女学院)	大阪市城東区
大阪青凌	三島郡島本町	大阪体育大学浪商	泉南郡熊取町
大阪電気通信大学	守口市	大阪桐蔭	大東市
大阪夕陽丘学園	大阪市天王寺区	大阪緑涼(元大阪女子短期大学)	藤井寺市
開明	大阪市城東区	関西大倉	茨木市
関西創価	交野市	関西大学高等部	高槻市
関西大学第一	吹田市	関西大学北陽	大阪市東淀川区
関西福祉科学大学	柏原市	関西学院千里国際高等部	箕面市
近畿大学泉州	岸和田市	近畿大学附属	東大阪市
金蘭千里	吹田市	建国	大阪市住吉区
賢明学院	堺市堺区	香里ヌエール学院(元大阪聖母女学院)	寝屋川市
金光大阪	高槻市	金光藤蔭	大阪市生野区
金光八尾	八尾市	四條畷学園	大東市
四天王寺東(元四天王寺学園)	藤井寺市	昇陽	大阪市此花区
常翔学園	大阪市旭区	常翔啓光学園	枚方市
精華	堺市中区	清教学園	河内長野市
星翔	摂津市	清風南海	高石市
精明学院	大阪市住吉区	大商学園	豊中市
太成学院大学	大東市	高槻	高槻市

帝塚山学院泉ヶ丘	堺市南区	東海大学附属大阪仰星	枚方市
同志社香里	寝屋川市	浪速	大阪市住吉区
羽衣学園	高石市	初芝富田林	富田林市
初芝立命館	堺市東区	阪南大学	松原市
東大阪大学敬愛	東大阪市	東大谷	堺市南区
PL学園	富田林市	箕面学園	箕面市
箕面自由学園	豊中市	桃山学院	大阪市阿倍野区
履正社	豊中市	早稻田摂陵	茨木市

【男子校】5校

大阪星光学院	大阪市天王寺区	興國	大阪市天王寺区
清風	大阪市天王寺区	東大阪大学柏原	柏原市
明星	大阪市天王寺区		

【女子校】19校

ヴェリタス城星学園(元城星学園)	大阪市中央区	大阪薫英女学院	摂津市
大阪国際滝井	守口市	大阪女学院	大阪市中央区
大阪成蹊女子	大阪市東淀川区	大谷	大阪市阿倍野区
香ヶ丘リベルテ(元堺女子)	堺市堺区	金蘭会	大阪市北区
好文学園女子	大阪市西淀川区	堺リベラル(元堺女子)	堺市堺区
四天王寺	大阪市天王寺区	樟蔭	東大阪市
城南学園	大阪市東住吉区	宣真	池田市
相愛	大阪市中央区	帝塚山学院	大阪市住吉区
梅花	豊中市	プール学院	大阪市生野区
明淨学院	大阪市阿倍野区		

6. 県内公立高等学校への進学について(高等専門学校は除く)

県立と市立があり、男女共学です。令和6年度の入学試験は、推薦入学・特色選抜・多部制Ⅰ期試験が2月15日(火)に、複数志願選抜と単独選抜が3月12日(火)に行なわれます。出願資格は、学区が県下全域の場合は兵庫県内に、学区が第2学区の場合は第2学区内に、保護者と一緒に居住していなければ、特別な事情のない限り、受検できません。

(a) 推薦入学

中学校長の推薦が必要です。出願時に本人が提出する面接調査票(冊子の最後に綴じています)、面接、適性検査、実技検査、小論文等の結果と調査書(冊子の最後に綴じています)を総合して合否判定を行います。

<推薦入学を実施する県内公立高等学校一覧>

【専門教育を主とする学科(職業教育を主とする学科)】県下全域35校・募集定員の50%
兵庫県立相生産業(機械科)(電気科)(商業科)
兵庫県立尼崎工業(機械科)(建築科)(電気科)(電子科)
兵庫県立有馬(人と自然科)
兵庫県立小野(ビジネス探求科)
兵庫県立小野工業(機械工学科)(電子科)(生活創造科)
兵庫県立香住(海洋科学科)

兵庫県立上郡(農業生産科)(地域環境科)	
兵庫県立神戸商業(商業科)(情報科)(会計科)	※情報科と会計科は募集定員の100%
兵庫県立篠山産業(機械工学科)(電気建設工学科)(農と食科)(総合ビジネス科)	
兵庫県立篠山東雲(地域農業科)	
兵庫県立佐用(農業科学科)(家政科)	
兵庫県立飾磨工業(機械工学科)(電気情報工学科)(エネルギー環境工学科)	
兵庫県立松陽(商業科)(生活文化科)	
兵庫県立洲本実業(機械科)(電気科)(地域商業科)	
兵庫県立但馬農業(みのりと食科)(総合畜産科)	
兵庫県立龍野北(電気情報システム科)(環境建設工学科)(総合デザイン科)(看護科)(総合福祉科)	※看護科と総合福祉科は募集定員の100%
兵庫県立豊岡総合(電気応用工学科)(環境建設工学科)	
兵庫県立東播工業(機械科)(電気科)(建築科)(土木科)	
兵庫県立西脇(生活情報科)	
兵庫県立西脇工業(機械科)(電気科)(ロボット工学科)(総合技術科)	
兵庫県立農業(農業科)(園芸科)(動物科学科)(食品科学科)(農業環境工学科)(造園科)(生物工学科)	
兵庫県立播磨農業(農業経営科)(園芸科)(畜産科)	
兵庫県立氷上(生産ビジネス科)(食品ビジネス科)(生活ビジネス科)	
兵庫県立日高(看護科)(福祉科)	※募集定員の100%
兵庫県立姫路工業(機械科)(電気科)(工業化学科)(デザイン科)(溶接科)(電子機械科)	※電子機械科は募集定員の100%
兵庫県立姫路商業(商業科)(情報科学科)	※情報科学科は募集定員の100%
兵庫県立兵庫工業(建築科)(機械工学科)(電気工学科)(総合理化学科)(都市環境工学科)(デザイン科)(情報技術科)	
兵庫県立武庫荘総合(福祉探求科)	※募集定員の100%
兵庫県立社(生活科学科)	
兵庫県立山崎(森と食科)	
明石市立明石商業(国際会計科)(商業科)	※国際会計科は募集定員の100%
尼崎市立尼崎双星(商業学科)(ものづくり機械科)(電気情報科)	
伊丹市立伊丹(商業科)	
神戸市立科学技術(機械工学科)(電気情報工学科)(都市工学科)(科学工学科)	
神戸市立神港橋(みらい商学科)	
【専門教育を主とする学科(特色ある専門学科)】県下全域23校・募集定員の100%	
兵庫県立明石(美術科)	兵庫県立明石北(自然科学科)
兵庫県立明石西(国際人間科)	兵庫県立尼崎小田(サイエンスリサーチ科)(国際探求学科)
兵庫県立小野(科学探究科)	兵庫県立加古川東(理数科)
兵庫県立神戸(総合理学科)	兵庫県立国際(国際科)
兵庫県立大学付属(総合科学科)	兵庫県立宝塚北(演劇科)(グローバルサイエンス科)
兵庫県立龍野(総合自然科学科)	兵庫県立豊岡(理数科)
兵庫県立鳴尾(国際文化情報学科)	兵庫県立西宮(音楽科)
兵庫県立姫路西(国際理学科)	兵庫県立兵庫(創造科学科)
兵庫県立舞子(環境防災科)	兵庫県立三木(国際総合科)

兵庫県立社(体育科)	尼崎市立尼崎(体育科)
神戸市立葺合(国際科)	西宮市立西宮(グローバル・サイエンス科)
姫路市立琴丘(国際文化科)	
【普通科コース】第2学区内6校・募集定員の100%	
兵庫県立尼崎(教育と絆)	兵庫県立柏原(知の探求) →普通科・地域社会に関する学科の地域科学探究科に
兵庫県立川西緑台(総合理数)	兵庫県立神戸鈴蘭台(国際コミュニケーション)
兵庫県立篠山鳳鳴(総合科学) →普通科・STEAMに関する学科の「STEAM探究科・単位制」に	兵庫県立宝塚西(国際教養)
伊丹市立伊丹(グローバル・コミュニケーション)	市立西宮東(数理・科学)(人文・社会科学)
【普通科新学科】第2学区内2校・募集定員の100%	
兵庫県立柏原(地域科学探究科)	兵庫県立篠山鳳鳴(STEAM探究科・単位制)
【普通科単位制(全日制)】県下全域8校・募集定員の50%	
兵庫県立芦屋	兵庫県立尼崎稻園
兵庫県立加古川北	兵庫県立北須磨
兵庫県立三田祥雲館	兵庫県立西宮
兵庫県立姫路東	神戸市立六甲アイランド
【総合学科】県下全域15校・募集定員の50%	
兵庫県立明石南	兵庫県立有馬
兵庫県立淡路	兵庫県立伊丹北
兵庫県立加古川南	兵庫県立香寺
兵庫県立神戸甲北	兵庫県立須磨友が丘
兵庫県立太子	兵庫県立豊岡総合
兵庫県立西宮今津	兵庫県立三木東
兵庫県立武庫之荘総合	兵庫県立和田山
神戸市立須磨翔風	

参考 〈令和5年度 推薦入学の状況〉

学校名	定員	志願者数
兵庫県立神戸(総合理学科)	40	108
兵庫県立鳴尾(国際文化情報学科)	40	54
兵庫県立国際(国際科)	120	136
神戸市立葺合(国際科)	80	89
西宮市立西宮(グローバル・サイエンス科)	40	93
西宮市立西宮東(数理・科学コース)	40	80
西宮市立西宮東(人文・社会科学コース)	40	68
兵庫県立西宮今津(総合学科)〔定員240×50%〕	120	146
兵庫県立西宮(単位制普通科)〔定員280×50%〕	140	223
兵庫県立芦屋(単位制普通科)〔定員280×50%〕	140	267

(b) 特色選抜

中学校長の推薦は必要としません。出願時に本人が提出する志願理由書(冊子の最後に綴じています), 面接, 実技検査, 小論文等の結果と調査書(冊子の最後に綴じています)を総合して合否判定を行います。

<特色選抜を実施する県内公立高等学校一覧>

【特色ある類型】第2学区内23校・募集定員の20%以内最大40名まで	
兵庫県立尼崎小田(看護医療・健康)	兵庫県立尼崎北(環境)
兵庫県立尼崎西(スポーツ・コミュニケーション)	
兵庫県立家島(海と科学・海と人間)	※県下全域から募集定員の50%以内
兵庫県立生野(観光・グローバル)	※県下全域から募集定員の50%以内
兵庫県立伊丹(グローカル リーダーズ イン サイエンス)	兵庫県立伊丹西(総合ヒューマン)
兵庫県立猪名川(教育コミュニケーション)	兵庫県立川西北陵(探求と表現)
兵庫県立川西明峰(グローバルキャリア)	兵庫県立神戸北(福祉ボランティア)
兵庫県立三田西陵(子どもみらい)	兵庫県立宝塚(ヒューマンサイエンス)
兵庫県立宝塚東(総合健康)	兵庫県立鳴尾(総合人間)
兵庫県立西宮甲山(教育総合)	兵庫県立西宮北(科学探求・社会探求)
兵庫県立西宮南(環境とコミュニケーション)	兵庫県立北摂三田(人間科学)
兵庫県立村岡(地域アウトドアスポーツ)	※全国から募集定員の50%以内
尼崎市立尼崎(国際総合)	尼崎市立尼崎双星(音楽)
西宮市立西宮(人間探求)	

参考 <令和5年度 特色選抜の状況>

学校名	定員	志願者数
兵庫県立西宮甲山〔定員160×15%〕	24	16
兵庫県立西宮北〔定員200×10%〕	20	14
兵庫県立鳴尾〔定員280×15%〕	40	51
兵庫県立西宮南〔定員240×10%〕	24	47
西宮市立西宮〔定員280×15%〕	40	71

(c) 多部制 I 期試験

中学校長の推薦は必要としません。出願時に本人が提出する志願理由書(冊子の最後に綴じています), 面接, 作文等の結果と調査書(冊子の最後に綴じています)を総合して合否判定を行います。

<多部制 I 期試験を実施する県内公立高等学校一覧>

【多部制】県下全域4校・I 部とII部は募集定員の60%・III部は募集定員の70%	
兵庫県立飾磨工業(基礎工学科 I 部・II部・III部)	兵庫県立西宮香風(普通科 I 部・II部・III部)
兵庫県立西脇北(普通科 I 部・II部・III部)	兵庫県立阪神昆陽(普通科 I 部・II部・III部)

(d) 学力検査

学力検査は、調査書(冊子の最後に綴じています)の学習評定と学力検査の結果を合わせた得点合計と調査書の諸記録を総合して合否の判定を行います。〈兵庫方式〉

$$\begin{aligned} \text{① 学習評定(国・社・数・理・英の評定)} \times 4 &= 100\text{点満点} \\ (\text{音・美・保体・技術家庭の評定}) \times 7.5 &= 150\text{点満点} \\ \text{② 学力検査(国・数・社・理・英の得点合計)} \div 2 &= 250\text{点満点} \end{aligned} \quad \left. \begin{array}{l} \text{①+②}=500\text{点満点} \\ \hline \end{array} \right.$$

	国	社	数	理	英	音	美	保体	技術家庭	得点	合計
学習評定	3	3	3	3	3	3	3	3	3	150	287.0
	12	12	12	12	12	22.5	22.5	22.5	22.5		
学力検査	55	58	57	49	55					137.0	
	27.5	29	28.5	24.5	27.5						
学力検査各教科の得点は、令和4年度入試の平均点を少数第1位ですべて切り上げています。											

(d)-1 複数志願選抜

コースを除く全日制普通科学年制と単位制及び全日制総合学科で実施する選抜制度です。個性や能力に応じて1校または2校を志願でき、第1志望を優先するため、第1志望校には一定の加算点(第2学区の加算点は20点)を加えて合否の判定を行います。また、総合学科のみを志望する場合に限り、学力検査の1教科を、音楽、美術、保健体育、技術・家庭のなかから、希望する1教科の実技試験(代替受検)に替えることができます。その場合、調査書の配点が逆になります。例えば、数学の学力検査に替えて、美術を実技検査で受検する場合、調査書の配点は、数学が7.5倍、美術は4倍となります。出願は、第1志望のみ、第1志望+第2志望の2つのパターンとなります。複数志願で2校(第1志望+第2志望)を出願する場合は、居住地のある学区から2校、または、隣接区域(第2学区の場合は神戸市北区)から2校を選んで出願します。ただし、第2学区と隣接区域をまたがっての受検はできません。したがって、西宮から受検する場合の出願パターンは、以下の通りとなります。

- (ア) 第1志望(第2学区から1校)のみ
- (イ) 第1志望(神戸北区から1校)のみ
- (ウ) 第1志望(第2学区から1校)+第2志望(第2学区から1校)
- (エ) 第1志望(神戸北区から1校)+第2志望(神戸北区から1校)

<第2学区で複数志願選抜に参加する県内公立高等学校一覧>

【普通科学年制】第2学区内27校+隣接区域(神戸市北区)2校	
兵庫県立尼崎	兵庫県立尼崎小田
兵庫県立尼崎北	兵庫県立尼崎西
兵庫県立伊丹	兵庫県立伊丹西
兵庫県立猪名川	兵庫県立柏原
兵庫県立川西北陵	兵庫県立川西緑台
兵庫県立川西明峰	兵庫県立神戸北 ☆隣接区域
兵庫県立神戸鈴蘭台	☆隣接区域 兵庫県立篠山鳳鳴
兵庫県立三田西陵	兵庫県立宝塚
兵庫県立宝塚北	兵庫県立宝塚西
兵庫県立宝塚東	兵庫県立鳴尾
兵庫県立西宮甲山	兵庫県立西宮北

兵庫県立西宮南	兵庫県立北摂三田
尼崎市立尼崎	尼崎市立尼崎双星
伊丹市立伊丹	西宮市立西宮
西宮市立西宮東	
【普通科単位制】第2学区内3校・募集定員の50%	
兵庫県立尼崎稻園	兵庫県立三田祥雲館
兵庫県立西宮	
【総合学科】第2学区内4校+隣接区域(神戸市北区)1校・募集定員の50%	
兵庫県立有馬	兵庫県立伊丹北
兵庫県立神戸甲北	☆隣接区域 兵庫県立西宮今津
兵庫県立武庫之荘総合	

参考 <令和5年度 複数志願選抜の状況>

学校名	定員	第1志望	第2志望
兵庫県立鳴尾	240	247	219
兵庫県立西宮甲山	144	99	115
兵庫県立西宮北	186	144	107
兵庫県立西宮南	216	219	225
兵庫県立西宮今津(総合学科)	120	102	147
兵庫県立西宮(普通科単位制)	140	186	126
西宮市立西宮	240	320	1
市立西宮東	200	288	65

(d)-2 単独選抜

複数志願選抜に参加しない全日制の公立高校と多部制、定時制で実施されます。

<単独選抜を実施する県内公立高等学校一覧>

【職業教育を主とする学科】県下全域33校・募集定員の50%
兵庫県立相生産業(機械科)(電気科)(商業科)
兵庫県立尼崎工業(機械科)(建築科)(電気科)(電子科)
兵庫県有馬(人と自然科)
兵庫県立小野(ビジネス探究科)
兵庫県立小野工業(工業科・機械工学科と電子科の括り募集)(生活創造科)
兵庫県立香住(海洋科学科)
兵庫県立上郡(農業生産科)(地域環境科)
兵庫県立神戸商業(商業科)
兵庫県立篠山産業(機械工学科)(電気建設工学科)(農と食科)(総合ビジネス科)
兵庫県立篠山東雲(地域農業科)
兵庫県立佐用(農業科学科)(家政科)
兵庫県立飾磨工業(機械工学科)(電気情報工学科)(エネルギー環境工学科)
兵庫県立松陽(商業科)(生活文化科)

兵庫県立洲本実業(工業科・機械科と電気科の括り募集)(地域商業科)	
兵庫県立但馬農業(みのりと食科)(総合畜産科)	
兵庫県立龍野北(電気情報システム科)(環境建設工学科)(総合デザイン科)	
兵庫県立豊岡総合(電気応用工学科)(環境建設工学科)	
兵庫県立東播工業(機械科)(電気科)(建築科)(土木科)	
兵庫県立西脇(生活情報科)	
兵庫県立西脇工業(機械科)(電気科)(ロボット工学科)(総合技術科)	
兵庫県立農業(農業科)(園芸科)(動物科学科)(食品科学科)(農業環境工学科)(造園科)(生物工学科)	
兵庫県立播磨農業(農業経営科)(園芸科)(畜産科)	
兵庫県立氷上(生産ビジネス科)(食品ビジネス科)(生活ビジネス科)	
兵庫県立姫路工業(機械科)(電気科)(工業化学科)(デザイン科)(溶接科)	
兵庫県立姫路商業(商業科)	
兵庫県立兵庫工業(建築科)(機械工学科)(電気工学科)(総合理化学科)(都市環境工学科)(デザイン科)(情報技術科)	
兵庫県立社(生活科学科)	
兵庫県立山崎(森と食科)	
明石市立明石商業(商業科)	
尼崎市立尼崎双星(商業学科)(ものづくり機械科)(電気情報科)	
伊丹市立伊丹(商業科)	
神戸市立科学技術(機械工学科)(電気情報工学科)(都市工学科)(科学工学科)	
神戸市立神港橋(みらい商学科)	
【多部制】県下全域4校・I部とII部は募集定員の20%・III部は募集定員の10%	
兵庫県立飾磨工業(基礎工学科 I部・II部・III部)	兵庫県立西宮香風(普通科 I部・II部・III部)
兵庫県立西脇北(普通科 I部・II部・III部)	兵庫県立阪神昆陽(普通科 I部・II部・III部)
【定時制】県下全域19校	
兵庫県立相生産業(機械科)	兵庫県立赤穂(普通科)
兵庫県立有馬(普通科)	兵庫県立小野工業(機械科)
兵庫県立神崎工業(機械科)(電気科)	兵庫県立錦城(普通科)
兵庫県立神戸工業(機械科)(電気科)(建築科)(情報技術科)	兵庫県立松陽(普通科)
兵庫県立洲本(普通科)	兵庫県立龍野北(商業科)
兵庫県立豊岡(普通科)	兵庫県立長田商業(商業科)
兵庫県立農業(普通科)	兵庫県立姫路北(普通科単位制)
兵庫県立湊川(普通科)	尼崎市立琴ノ浦(普通科)
神戸市立楠(普通科)	神戸市立神戸工科(工業技術科)
神戸市立摩耶兵庫(普通科昼間部)(普通科夜間部)	

(e) 通信制

面接の結果と調査書を総合して合否判定を行います。学力検査はありません。

<通信制の公立高等学校一覧>

【通信制】県下全域2校	
兵庫県立網干(普通科単位制)	兵庫県立青雲(普通科単位制)

7. 専修学校と各種学校への進学について

専修学校は、職業または実生活に必要な専門知識や技能を身に付ける教育機関です。コンピューターや調理技術をはじめ、さまざまな分野で募集が行われていますが、理美容・医療技術など、徐々に高卒者対象になってきているものが増えてきています。多くの専修学校では、技能連携制度を採用し、高卒資格が取得できるような授業形態を取っています。出願の期間(1月～3月・推薦は12月頃)や方法、修業年度(1年～3年)は各校により異なるので注意が必要です。また、年間の諸経費は、私立高校程度か、それ以上が必要です。

各種学校は、短い期間に職業又は実生活に必要な専門的知識や技能を身につける教育機関です。さまざまな分野での募集があり、修業年限も1年程度ですが、高卒資格は取れません。

8. 高等専門学校(高専)への進学について

高等専門教育機関で、専門技術者の養成を目的としています。実験・実習が非常に多く、修業年限は5年です。卒業後に大学理工学系学部へ編入するケースも増えてきています。高い就職率を誇りますが、合格条件は非常に厳しいです。1月下旬の推薦による選抜と2月下旬の学力検査による選抜があり、全国どこでも受検できます。

9. 特別支援学校への進学について

特別支援学校への進学は、学校説明会やオープン・ハイスクール等に参加することによって受検資格を得ることになりますので、お子さまが通常学級に在籍し特別支援学校への進学を希望される場合は、早急に担任までお知らせください。

10. 県外公立高等学校及び遠隔地の私立高等学校への進学について

保護者の転勤等の理由で、県外の公立高校への受検を希望される場合は、転居先の都道府県教育委員会が定める手続きに従って出願する必要があるため、原則、保護者の方に動いていただくことになります。転居先の都道府県教育委員会に連絡を入れていただき、その都道府県の「令和6年度版公立高等学校入学者選抜要項」を取り寄せて熟読していただき、必要書類や日程を担任までお知らせください。兵庫県も含め、各都道府県の「令和6年度版公立高等学校入学者選抜要項」まだ作成されていないため、現時点で動かれる必要はありませんが、早め早めの動きが必要になります。また、遠隔地(例えば関東)の私立高校への受験を希望される場合についても、原則、それぞれの高校に連絡を入れていただき、情報収集等も含め、保護者の方に動いていただくことになります。

11. 奨学金について

義務教育終了後の進学には、今まで以上に費用が掛かります。特に私立への進学1年目には、授業料以外にも入学金・施設費・制服や学校指定用品購入等のさまざまな費用が加算されるので、あらかじめどの程度の費用が必要なのかを、各校のホームページなどで調べ、知っておく必要があります。教師生活を長く続けていると、せっかく本人が希望する進路に合格したのに、費用が準備できずに合格を辞退せざるを得なかつたという悲しい現実もあります。そんな悲しい現実をなくすためにも、申請にはさまざまな提出書類を準備していただく必要がありますが、積極的に利用してほしいのが奨学金制度です。奨学金には、高校卒業後に返還の必要な「貸与」と、返還の必要なない「給付」の2種類がありますが、多くの奨学金が返還の必要な「貸与」方式をとっています。かたちのうえでは、保護者ではなくお子さまがお金を借りることになるので、お子さま名義の指定口座にお金が振り込まれ、返還の義務はお子さまが負うことになります。中学校に届いた案内については随時紹介させていただきますが、奨学金情報検索サービス『Canpass』で条件を選択していただければ、利用可能な各種奨学金を検索することもできます。また、例年10月頃に西宮市教育委員会から「高校生対象各種奨学金制度」一覧表が配布されています。

(様式 13)

面接調査票

○○立○○高等学校		受検番号	
志願者名		生年月日	年月日
志願学科・コース・課程名			
出身中学校名	立中学校		
通学方法	JR、私鉄、バス、自転車、徒歩、その他()		
通学時間	自宅から()時間()分、寄留先から()時間()分		
好きな教科			
部活動等の状況			
特技、資格・検定等			
希望する進路			
志望理由			
高等学校で学びたいこと			

(記入上の注意) 1 本人が自書すること。(手書きコピー可)

2 通学方法は該当事項を○で囲むこと。

※ 用紙の大きさはA4判縦長とし、高等学校が上記の様式により作成する。

(様式11) おもて

志願理由書

○○立○○高等学校長 様

受検番号	※
------	---

年 月 日

志願者名

保護者名

下記により、貴校への入学を志願します。

記

1 本校を志願した理由は何ですか。

4 あなたの自己PRをしてください。

2 将来の夢は何ですか。

※欄は記入しないでください。

(様式11) うちら

3 本校でどのような学校生活を送りたいと考えていますか。

※ 特色選抜については、中学校長経由証印を必要とし、裏面下に次の様式を追加する。

中学校長経由証印
令和 年 月 日 中学校長 校長名

印

(記入上の注意) 保護者名欄は自署するこど。
※ 用紙の大きさはA4判縦長とし、上記の様式により高等学校が作成する。

調査書

(様式1)

課程・学科	全日制・定時制・通信制			科	組番	受検番号		
氏名 <small>ふりがな</small>	性別 <small>()</small>			学歴	昭和・平成 年 月 日			
					中学校入学			
昭和・平成 年 月 日生			昭和・平成 年 月 日			中学校卒業・卒業見込み		
各教科の学習の記録					出欠の記録			
評定	教科	1年	2年	3年	学年	欠席日数	欠席の主な理由	
	必修教科	国語			第1学年		日	
		社会						
		数学						
		理科			第2学年		日	
		音楽						
		美術						
		保健体育			特別活動の記録等			
		選択教科	技術・家庭					
	外國語							
参考事項								
上記の記載事項に誤りのないことを証明する。					平成 年 月 日			
中学校名								
校長氏名					印			

昨年度の進路状況

<全日制私立高等学校>

【共学校】				
兵庫	芦屋学園	啓明学院	神戸学院大学附属	神戸国際大学附属
	神戸星城	神戸第一	神戸龍谷	三田学園
	神港学園	須磨学園	滝川第二	東洋大姫路
	仁川学院	雲雀丘学園		
大阪	上宮	英真学園	大阪国際	大阪桐蔭
	近畿大学附属	昇陽	太成学院大学	早稻田摶稜
遠方	鹿島学園	静岡学園	東京音楽大学付属	
【男子校】				
兵庫	彩星工科(元村野工業)	報徳学園		
【女子校】				
兵庫	甲子園学院	神戸常盤女子	松蔭	親和女子
	園田学園	百合学院		
大阪	大阪成蹊女子	大谷	好文学園女子	

<県内公立高等学校>

【専門教育を主とする学科(職業教育を主とする学科)】	
兵庫県立香住(海洋科学科)	兵庫県立国際(国際科)
兵庫県立大学付属(総合科学科)	兵庫県立宝塚北(演劇科)
【専門教育を主とする学科(特色ある専門学科)】	
兵庫県立香住(海洋科学科)	兵庫県立国際(国際科)
兵庫県立大学付属(総合科学科)	兵庫県立宝塚北(演劇科)
兵庫県立鳴尾(国際文化情報学科)	兵庫県立兵庫(創造科学科)
兵庫県立社(体育科)	尼崎市立尼崎(体育科)
西宮市立西宮(グローバル・サイエンス科)	
【普通科コース】	
兵庫県立尼崎(教育と絆)	兵庫県立宝塚西(国際教養)
市立西宮東(数理・科学)(人文・社会科学)	
【普通科単位制(全日制)】	
兵庫県立芦屋	兵庫県立尼崎稻園
兵庫県立西宮	神戸市立六甲アイランド
【総合学科】	
兵庫県立西宮今津	
【普通科特色ある類型】	
兵庫県立尼崎西(スポーツ・コミュニケーション)	兵庫県立西宮甲山(教育総合)
兵庫県立西宮北(科学探求・社会探求)	尼崎市立尼崎(国際総合)
西宮市立西宮(人間探求)	

【普通科学年制】	
兵庫県立尼崎	兵庫県立尼崎小田
兵庫県立尼崎北	兵庫県立鳴尾
兵庫県立西宮甲山	兵庫県立西宮北
兵庫県立西宮南	尼崎市立尼崎
西宮市立西宮	西宮市立西宮東
【多部制】	
兵庫県立西宮香風(Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部)	
【定時制】	
兵庫県立神崎工業(機械科)	
【通信制】	
兵庫県立青雲	
【高等支援学校】	
兵庫県立芦屋特別支援	兵庫県立阪神昆陽特別支援

<県外公立高等学校>

大阪府立大塚(体育科)	大阪府立池田
京都府立海洋(海洋科学科)	北海道立静内農業(生産科)

<高等専門学校・他>

進学者なし	
-------	--

<専修学校・各種学校・通信制>

飛鳥未来きずな	英風	N高校	おおぞら
クラーク記念国際	第一学院	つくば開成	西宮甲英高等学院
YMCA学院			

<その他>

エバコナ語学学校(ニュージーランド)	エイグロンカレッジ(スイス)
--------------------	----------------

誰でも口から
マイナスなことも
プラスなことも吐く。
だから【吐】という字は
口と+とーで出来ていて
マイナスのことを
言わなくなると
ーが消えて
【吐】という字になる。